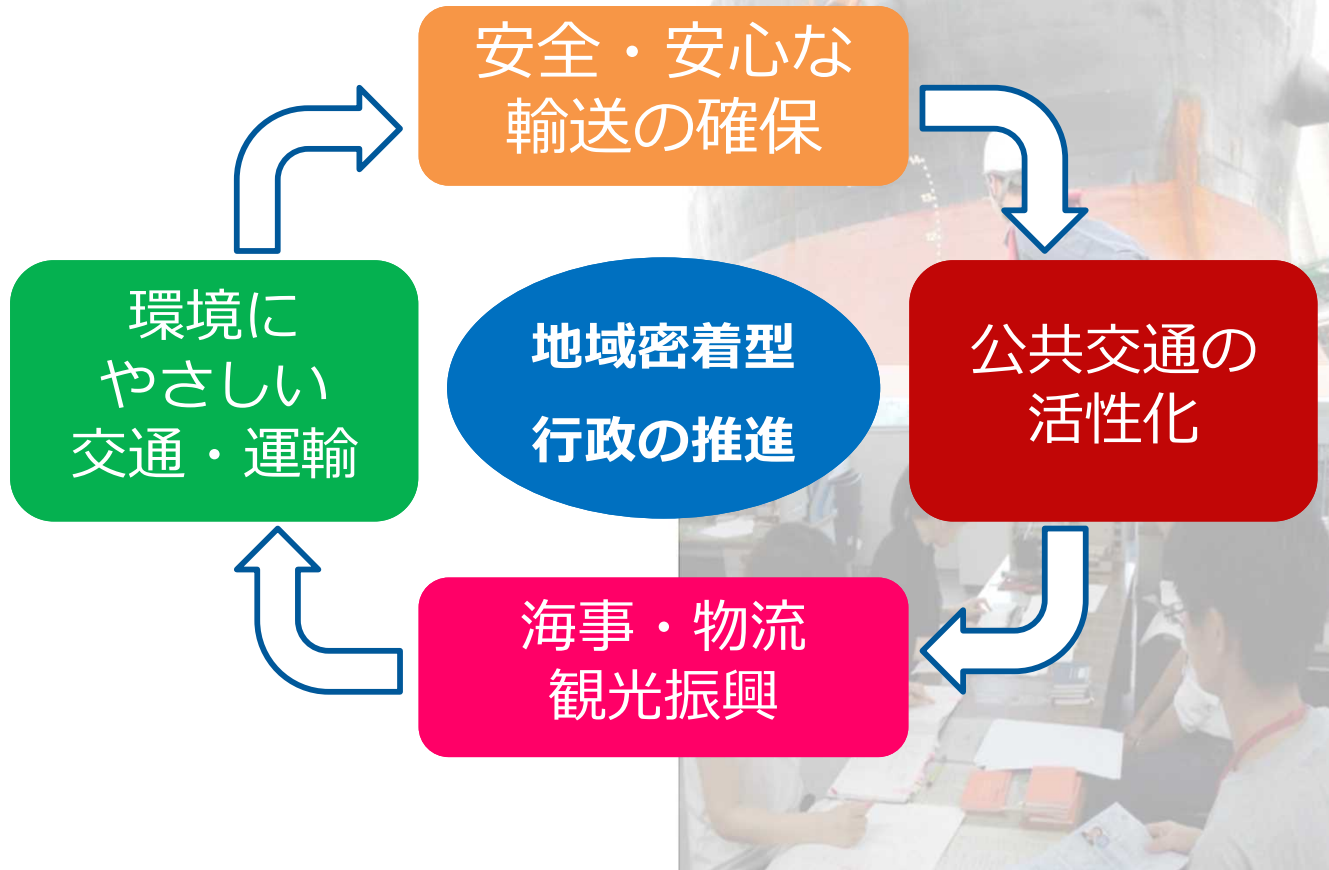


神戸運輸監理部

の強み



管轄が兵庫県1県であるため、地域に密着したきめ細かい行政が可能
転勤も少ない

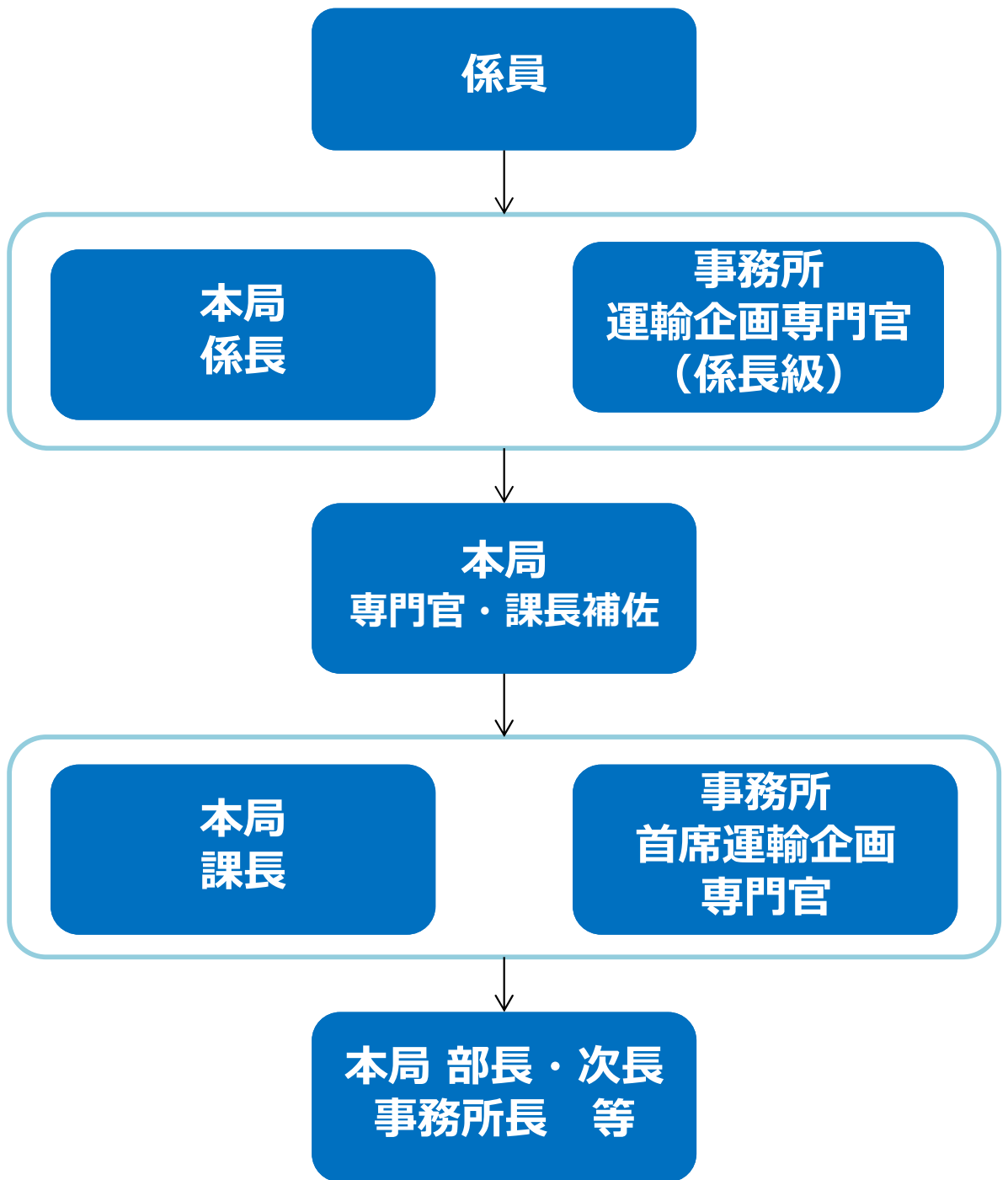
神戸地区は古くから海事産業が集積し、産学官の連携が強い。このため、**海事関係の施策が展開しやすい**

海事行政の経験豊富な職員からのフォローがしっかりしており、安心してスキルを高めることができる

女性の比率が高く、女性が働きやすい職場づくりへの意識が高い。また**男女問わず、育児休業等への理解が深く、実績も豊富**

テレワーク環境も整備済み

行政職（一般的な例）



- 管理業務・企画業務・許認可業務・窓口業務・安全審査業務などを経験し、バランス良くキャリアを積みみます。
- 国土交通本省・近畿運輸局等へ転勤する場合があります。

勤務環境

職員数

- 150名（うち女性33名） ※R6.5.1現在

本局

- 本庁舎（神戸市中央区）
- 魚崎庁舎（神戸市東灘区）

出先機関

- 姫路自動車検査登録事務所（姫路市）
- 姫路海事事務所（姫路市）

勤務時間

- 8:30～17:15（昼休み12:00～13:00）
- 夜間勤務等の交代制勤務はありません。

勤務地

- 採用後、原則として本局（本庁舎）に勤務します。
- その後、主に本局（本庁舎）または姫路海事事務所勤務します。

採用 の流れ

1	国家公務員採用1次試験 (人事院)	2024年 6月2日
2	官庁訪問 (神戸運輸監理部)	7月2日～
3	国家公務員採用2次試験 (人事院)	7月10日 ～7月26日
4	最終合格発表 (人事院)	8月13日
5	面接、内々定 (神戸運輸監理部)	8月13日
6	内定 (神戸運輸監理部)	10月1日
7	採用 (神戸運輸監理部)	2025年 4月1日

※年度によって順序・方法が異なる場合があります

神戸運輸監理部に採用されるためには、人事院が実施する採用試験に最終合格する必要があります。

官庁訪問は2次試験以外期間の日程で設定し、面談を実施します。

1

女性職員の人数と割合を教えてください

令和6年5月1日現在、150名のうち33名が女性職員です。その割合は22%で、近年は増加傾向にあります。（直近10年間の採用では約30%が女性）
また、神戸運輸監理部で採用され配属されている職員に限れば、女性職員の割合は28%です。

2

希望する部署へ配属されますか？

職員の勤務地・職務等の希望を可能な限り尊重しつつ、人員配置上の都合も踏まえて配属を決定しています。

3

採用後の異動はどのようなのでしょうか？

原則として、本局（本庁舎）へ配属されます。その後、2～3年毎に本局各部または姫路海事事務所への異動を経験し、運輸行政や企画行政のキャリアを積んでいきます。
なお、国土交通本省等へ出向する場合があります。

4 運航労務監理官や外国船舶監督官になるには、資格が必要ですか？

事前を取得しなければならない資格はありません。一定の業務経験年数や研修の受講を考慮して、運航労務監理官として任命されます。また、外国船舶監督官は、運航労務監理官の業務経験を経た者から任命されます。

5 採用されるにあたり、必要な知識・経験はありますか？

学部・学科による有利・不利はありません。採用後、職員による説明や各種研修がありますので、採用前に習得が必要な知識・経験もありません。

6 研修制度はどのようになっていますか？

4月に新採用職員研修を受講し、国家公務員及び国土交通省職員としての倫理や見識を習得します。その後は、役職・職種に応じた研修が用意されています。また、日常業務を行ううえでのスキル向上のため、広報実務・接客対応等の神戸運輸監理部独自の内部研修があります。

7 家庭・自己啓発・趣味などプライベートと仕事の両立はできますか？

職業生活と家庭生活等との両立は、豊かな人生の確保及び良質な公務の提供のため、重要視されています。

年次休暇・特別休暇のほか、妊娠・出産・育児・介護に関する多様な支援制度があり、両立できる職場環境です。なお、現在は働き方改革の一環として、テレワークの推進にも力を入れています。

8 育児休業等は取得できますか？

できます。

性別を問わずに利用可能な育児休業、育児短時間勤務、育児時間等の支援制度があります。育児休業中は代替職員を採用しており、家庭を持つ職員は男女問わず、積極的に制度を利用しています。

9 テレワークはできますか？

可能です。

担当業務、業務経験によって頻度は異なりますが、現在、多くの職員がテレワークを行っております。職場PCを自宅へ持ち帰り、業務を行う事ができます。